

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
49	区立スポーツ施設の環境整備					
事業概要	区立スポーツ施設の改築・改修に伴い、ユニバーサルデザインの考えを取り入れたバリアフリー化の促進を図る。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B.計画目標を達成した	コロナ影響	無	
令和2年度実績	・碑文谷体育館1階男子トイレ小便器取替工事					
評価の理由	男子トイレ小便器取替工事により、小便器の高さが低くなり、子どもでも使用しやすいトイレとなるなど、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備を行った。					
課題など	区民センター体育館のエレベーターの設置など、改善すべき課題が残っている。施設整備については、区有施設見直し方針や関係各課と調整の上、今後も引き続き検討が必要である。					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
50	指定管理者連絡会					
事業概要	区立体育施設の管理運営業務を円滑に実施するため、情報交換や業務の調整を図る。					
計画目標	拡充	目標に対する評価	B.計画目標を達成した	コロナ影響	無	
令和2年度実績	・年4回開催					
評価の理由	定期的に会議を開催することにより、全館に係る情報共有の場として、また区や各館相互の情報交換の場としての機能を果たした。また、区及び各館相互のコミュニケーションの場としての機能も果たした。					
課題など	各館共通の問題や、個別の問題などの情報の共有及び発信並びに情報交換の場として、より一層の充実を図るため、指定管理者についても議題設定に関与するなど、それぞれが主体的に参加するための取り組みが必要である。					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
51	指定管理者運営評価委員会の実施					
事業概要	指定管理者が行った区立体育施設の管理運営業務が適切に運営されたかを評価し、評価結果に基づき、住民サービスの向上と経費の効率的な活用を図る。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B.計画目標を達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	前期2回(紙上開催)、後期1回 計3回開催					
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・運営評価委員会の委員は学識経験者、経営に関する有識者及び区民の委員で構成されており、サービスの実施に関する事項、経営能力等に関する事項及び管理運営経費の効率的な活用について、適切に評価を行っている。この評価結果を指定管理者が運営に反映させることにより、住民サービスの向上と経費の効率的な活用を図っている。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、前期は書面開催、後期は対面とWebを併用した開催方法により、適切な運営評価がなされた。 					
課題など	より一層効率的、効果的に適切な運営評価が行えるよう、各過程について見直していく。					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名		みどり土木政策課	
事業No.	事業名				
52	区立公園の有効活用				
事業概要	健康器具の設置や運動のできる広場の確保等、気軽に運動が楽しめる公園等の整備を進める。				
計画目標	継続	目標に対する評価	B.計画目標を達成した	コロナ影響	有
令和2年度実績	健康器具の設置(ウォールラダー)の設置 大塚山公園 1基 健康器具の設置(背伸ばしベンチ)の設置 東山中児童遊園 1基				
評価の理由	公園改良工事に合わせ、区民意見を反映し、健康器具の設置を行った。				
課題など	新しい生活様式の中で、身近なオープンスペースである公園を活用した散歩や運動の区民ニーズは高まっている。 一方、区の財政状況が厳しい中で、公園整備を計画的に進めていくことは困難であり、特に令和3年度の公園整備については財政措置が無く、実施できない状況である。				

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
53	学校開放(校庭・体育館・格技室・武道館・プール)の実施					
事業概要	学校教育に支障のない範囲で、区立学校の施設を区民に開放することで、区民の生涯学習及びコミュニティ形成の場、地域におけるスポーツ振興と区民相互の交流促進を図る。学校ごとに住区住民会議の構成員、学校職員、PTAの構成員、スポーツ推進委員等から組織される学校開放運営委員会が運営を行う。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	①校庭 団体開放 : 23校 1,013回 43,330人、学校ひろば : 11校 264回 4,076人 ②体育館 団体開放 : 12校 1,039回 27,346人、個人開放 : 6校 53回 560人 ③格技室・武道室 団体開放: 1校 140回 1,373人 ④プール開放 : 0校 0回 0人					
評価の理由	・校庭、体育館、格技場・武道場の開放については、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止した期間があり、通年での実施ができなかったため、実施回数・利用者数ともに減少した。 ・プール開放については、新型コロナウイルス感染症対策により、中止したため、実績は無しとなった。					
課題など	・新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、教育委員会と連携して、学校開放の実施・中止について適時適切に判断する必要がある。 ・学校開放実施に当たっては、感染症対策の徹底を図りながら実施していく必要がある。					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	各地区サービス事務所			
事業No.	事業名					
54	区有施設における有効活用の実施					
事業概要	運動・スポーツが可能な区有施設について、団体に対して貸出しを実施する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	住区センター ダンス、舞踊、気功、ヨガ、太極拳、体操など					
評価の理由	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、住区会議室の利用について、以下の対応(利用制限)をしたことによるもの。</p> <p>○4月2日から4月8日まで会議室の利用を中止、窓口開館時間を1時間短縮。</p> <p>○4月9日から6月7日まで住区センター完全閉館(会議室利用中止)。</p> <p>○6月8日から窓口再開、開館時間を午前9時から午後7時までに短縮。</p> <p>○6月15日から会議室の利用再開(利用定員半減、窓のない部屋の利用中止、飲食の制限、大きな声・呼気が激しくなる運動・対人距離の確保やマスク着用が困難な活動の利用制限(継続中)、夜間利用中止(6月15日から11月19日まで)</p> <p>○1月9日から3月21日まで夜間利用中止、窓口開館時間を午後7時までに短縮。</p> <p>○3月22日から夜間利用中止、窓口開館時間を午後8時までに短縮。</p>					
課題など	<p>通常どおり(コロナ禍以前)の活動ができるよう望む声が多い反面、施設に集合する活動を控えるという声も確実に増加している。また、新型コロナウイルス感染症対策のため活動休止となった団体も出てきている。</p> <p>国や都の動向を注視し、利用者の安全を踏まえつつ、施設の貸出しを継続していく必要がある。</p>					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	高齢福祉課			
事業No.	事業名					
54	区有施設における有効活用の実施					
事業概要	運動・スポーツが可能な区有施設について、団体に対して貸出しを実施する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C: 計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	老人いこいの家 ストレッチ、体操 ヨガなど					
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策により、老人いこいの家を閉鎖したため、貸出しを行えなかった期間があった。 ・老人いこいの家において物品を共有する活動を禁止したため(新型コロナウイルス感染症対策)、手のひらバレーの活動を行うことができなかった。 					
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策も重要である一方で、高齢者のフレイル予防も喫緊の課題となっている。このため、今後は感染症対策とフレイル予防のバランスを図っていくことが求められるようになってきている。 					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	生涯学習課			
事業No.	事業名					
54	区有施設における有効活用の実施					
事業概要	運動・スポーツが可能な区有施設について、団体に対して貸出しを実施する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	社会教育館等 ダンス、舞踊、気功、ヨガ 太極拳、体操など					
評価の理由	区民が定期的に活動を続けることで、自身の健康維持や体力向上及び地域コミュニティづくりに貢献している。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館や活動内容の制限などにより、継続的な活動を維持することができなかった。					
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動を継続する上で、高齢化等による会員の減少が課題である。 ・新型コロナウイルス感染症対応で活動が制限された中での運営が課題である。 					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	区民の声課			
事業No.	事業名					
55	目黒区世論調査の実施					
事業概要	区民の生活実態の把握及び区政の各分野について区民の意識、意向、意見や要望を把握する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B.計画目標を達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	第46回目黒区世論調査において、「運動やスポーツの実施状況」等の調査を実施した。					
評価の理由	第46回目黒区世論調査を実施した。回答は紙面による回答とQRコードを活用したインターネット回答を併用して実施した。 また、回収率向上のため、若い世代には調査票に勧奨チラシを同封した。					
課題など	第46回目黒区世論調査では、新型コロナウイルス感染拡大以前と以降の運動やスポーツについて調査した。					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
56	利用者アンケート・モニタリングの実施					
事業概要	スポーツ事業に対する継続的な評価とその結果に基づいた業務の改善を行うため、指定管理者が実施するスポーツ事業開催時に参加者へのアンケート調査及び、施設利用者の満足度調査を年1回実施する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B.計画目標を達成した	コロナ影響	有	
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者が実施するスポーツ事業開催時に、体育館独自のアンケートを実施した。 年1回、区の利用者アンケート調査を実施した。 					
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 年1回区が実施するアンケートの他、各体育館では独自にアンケートの実施や意見箱等の設置により利用者ニーズの把握に努め、教室の増設を行うなど、利用者の満足度向上につながる取り組みを実施した。 区が実施しているアンケートについては、令和2年度から新型コロナウイルス感染症対策及び利便性の向上を図るため、紙面による回答に加えてQRコードを活用して回答する方法を導入して実施した。 					
課題など	<ul style="list-style-type: none"> 寄せられた意見・要望については、真摯に受け止め利用者目線に立って対応する必要がある。 対応が困難な意見・要望については、丁寧な説明を心掛け、理解が得られるよう努める必要がある。 					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
57	スポーツに関する情報の収集					
事業概要	スポーツ推進委員や目黒体育協会などのスポーツ関連団体と情報交換等を行い、より効果的なスポーツ事業の実施に役立てる。					
計画目標	新規	目標に対する評価	B.計画目標を達成した	コロナ影響	無	
令和2年度実績	・スポーツ推進委員協議会の全体会等へ事務局として参加、スポルテ目黒の理事会等にオブザーバーとして参加、体育施設の運営等で目黒体育協会との情報交換等、スポーツ関連団体からの情報収集・情報交換を適宜行った。					
評価の理由	各スポーツ関連団体から得た情報を、新型コロナウイルス感染症対策や体育施設の運営等に活かした。					
課題など	各スポーツ団体との情報交換等を円滑に行うため、引き続き各団体との協力及び連携を深めていく必要がある。					

【基本施策7】区民が気軽にスポーツができる環境の整備

		所属名			
		スポーツ振興課 オリンピック・パラリンピック推進課			
事業No.	事業名				
58	区内外のスポーツの情報発信				
事業概要	区ホームページなどを活用し、区内外のスポーツ情報を発信する。				
計画目標	継続	目標に対する評価	B.計画目標を達成した	コロナ影響	有
令和2年度 実績	①広報紙「めぐろスポーツニュース」(月1回発行)を創刊した。(平成28年4月～) ②区が実施するスポーツイベントや講習会、スポーツ表彰、オリパラ機運醸成事業情報を広報紙やHPで情報を発信した。				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症対策により、不要不急の外出自粛が求められる中、自宅でできる運動・スポーツ情報を発信した。また、東京2020大会の1年延期や区が実施するスポーツイベント等は一部中止となったが、スポーツ時のマスクの着用やイベントの参加人数制限など感染症対策を徹底し、スポーツイベントを実施することで、コロナ禍におけるスポーツ情報を区民に発信することができた。				
課題など	新しい生活様式において、感染症対策を講じながら、スポーツの取り組み方や必要性等を再度情報発信していく。また、開催が1年延期した東京2020大会についても、新たな情報を区民に発信し、機運を高めていくことが必要である。				